

シャフルボード

シャフルボードは、細長いコートの上で、キューを使って円盤（ディスク）をシュートするゲームです。起源は石器時代にまでさかのぼりますが、現在の形に近いゲームは、20世紀初期に船の甲板で楽しまれていました。R. ポール夫妻が、船旅で覚えたこのゲームをアメリカフロリダ州の自分の経営するホテルで公開、好評を博したのがきっかけとなり、1931年には全米シャフルボード協会が設立されました。現在では全世界に愛好され、競技人口は1200万人とも言われています。

用具

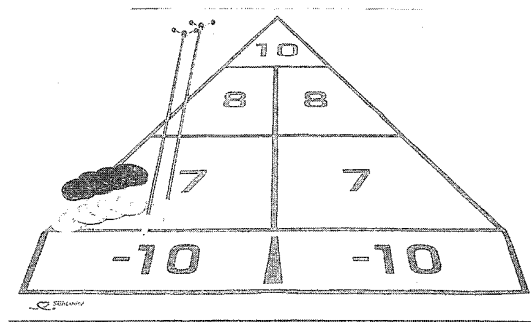
- ☆ディスク（黄・黒各4枚 計8枚）
- ☆キュー（細長い棒）2本
- ☆コートマット

人数

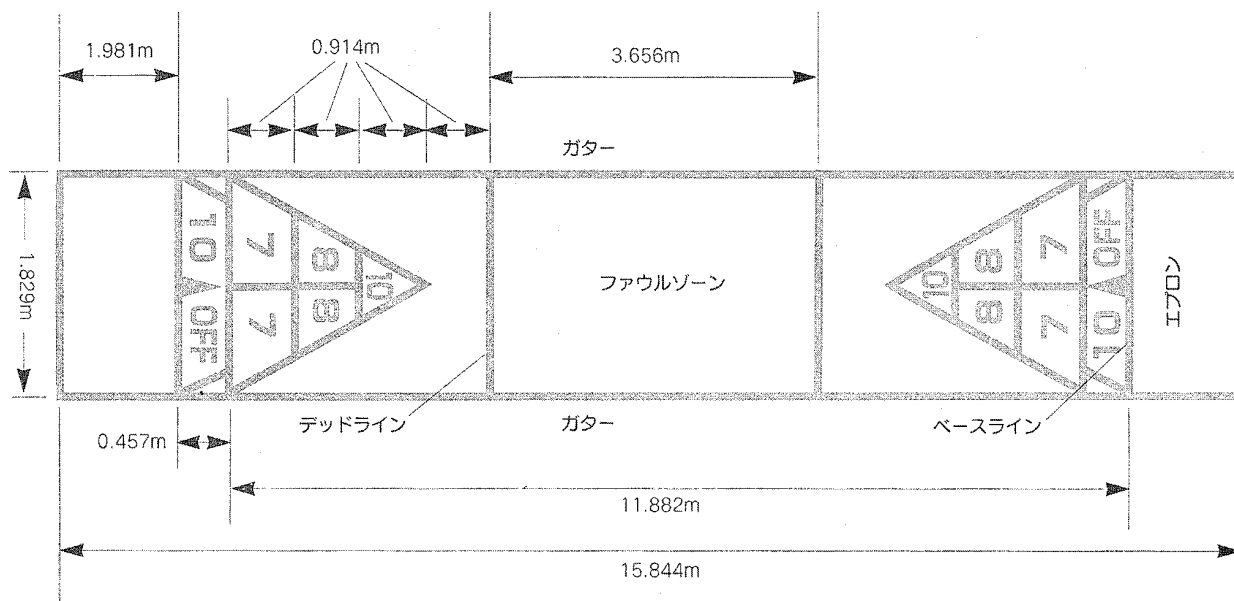
- ☆1人対1人
- ☆2人対2人
- ☆1対1対1
- 4人対4人まで簡易ゲームもできる。

場所（コート）

- ☆正式には、15.8m×1.8mのコートを平らな場所に作る。
- ☆専用カーペットコート
- ☆全長12mや9mのもの、コートが片方だけの6mのものもある。

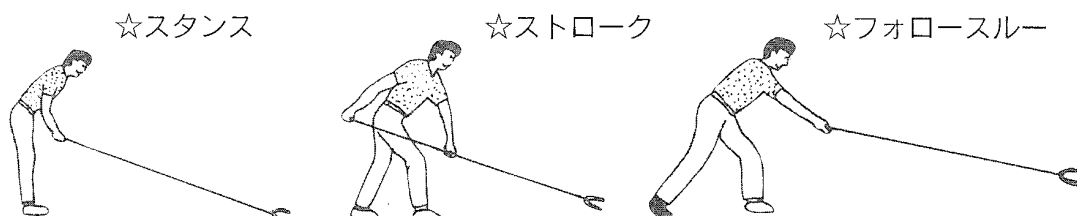


☆シャフルボード公式コート



	
運動量	★★★
技能	★★★
準備	★★★

【シュートの仕方】



ルール（進め方）

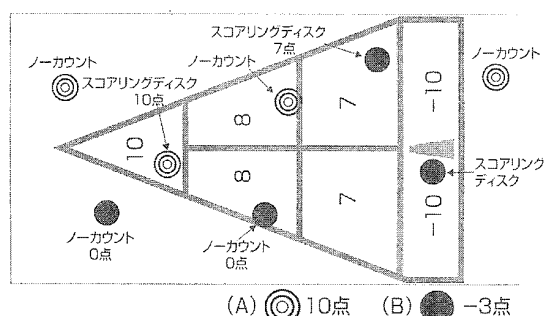
- ① プレー開始前に先攻、後攻をジャンケンで決める。
- ② 先攻は黄色のディスク、後攻は黒のディスクをそれぞれコートヘッドの-10の位置の右側に黄色4枚、左側に黒色4枚ずつ並べる。並べるときは線に触れないように置く。
- ③ 先攻からまず黄色のディスクのどれかを前方のスコアリングダイアグラム（図）を狙って、キューでシュートするが、この時、相手の得点となっているディスクを狙い、そのディスクをキッチン（-10の位置）に入れたり、様々な作戦を講じることができる。
- ④ このように交互にシュートを繰り返して、8枚すべてのディスクがシュートされると1フレームが終わる。
- ⑤ 1ゲーム終了するとスコアリングダイアグラムの方に行き、両者確認のもと点数を数える。
- ⑥ 第2フレームは第1フレームと反対側より第1フレームと同じ要領で第2フレームを続けるが、この時、第1フレームの勝者が先攻を取る。
- ⑦ 第2フレームは黒色ディスクを右側に黄色のディスクを左側に並べて始める。

【得点の数え方】

☆スコアリングダイアグラムに入っているディスクが得点対象となるが、少しでも線に触れているとノーカウント。また、「-10」に入っているディスクは10点減点。

☆図のようにディスクがスコアリングダイアグラムにあるとき、先攻(A)は10点、後攻(B)は7点だが、後攻はキッチンにも入っているため10点減点となり、結局このフレームの得点はAが10点、Bが-3点となる。たとえば第2フレームの得点がAが-3点、Bが8点とすれば、第2フレームのスコアボードにはA7点、B5点と記入する。☆以降累計してフレームごとの得点を記入していく。

☆スコアリングダイアグラム



【勝敗の決め方】（2つの方法）

☆フレーム制は8、12、16のいずれかのフレーム数を決めて、それぞれの終了時の得点で決める。

☆ポイント制は50、75、100点のいずれかの点を定めて先取した方を勝ちとする。